

省略(注)の箇所は、著作権の都合上省略しています。

## 2026年度 前期B方式入学試験問題

文系型受験

- ◆建築学科／建築専攻（文系型）
- ◆建築学科／インテリアデザイン専攻（文系型）
- ◆建築学科／かおりデザイン専攻（文系型）
- ◆建築学科／都市空間インフラ専攻（文系型）
- ◆情報デザイン学科（文系型）
- ◆総合情報学科（文系型）

国

語

受験上の注意

※2教科受験型です。受験する教科数に過不足があると判定しない場合がありますので注意してください。

1. 受験票は、机の端の見える位置に置いてください。
2. 解答用紙はマークシート（解答用紙A）が1枚、記述（解答用紙B）が1枚です。
3. 試験監督者の指示により、氏名、入学試験種別、受験型、受験番号をマークシート（解答用紙A）と解答用紙Bの指定された場所に必ず記入・マークしてください。
4. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
5. 試験開始後は、試験終了まで退室できません。
6. 用件のある場合は、手を挙げてください。
7. 解答は、マークシート（解答用紙A）と解答用紙Bのそれぞれ指定された解答欄に記入・マークしてください。
8. マークシート（解答用紙A）の記入上の注意
  - (ア)マークシート（解答用紙A）の解答欄は1～19まで使用します。
  - (イ)マークシート（解答用紙A）に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
  - (ウ)マークは、鉛筆もしくはシャープペンで、ていねいにマークしてください。また、訂正の場合は消しゴムで完全に消してください。
  - (エ)解答はマークシート(解答用紙A)に記載のマーク例を参考に解答欄にマークしてください。例えば10と表示のある問いに対して3と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしてください。

(例)

9. 問題用紙は持ち帰ってください。
10. 解答用紙Bの※印の欄には記入しないでください。

解答番号	解答欄
10	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

[一]

次の文章を読んで、後の問い（問一～七）に答えよ。ただし、解答は指定された解答用紙に記入すること。

省略(注)

省略(注)

省略(注)

省略(注)

(注1) リテラシー……読み書きの能力。

(注2) ハビトウス……とくに自覚されないまま人々のうちに蓄積されていく、知覚・思考・行為を生み出す性向。

問一 傍線部(ア)～(エ)のカタカナを漢字に改め、**解答用紙B**に答えよ(楷書で正確に書くこと)。

問二 空欄 **A** ～ **D** に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑥の中からそれぞれ一つずつ選び、**解答用紙A**に

答えよ。ただし、同じ言葉を繰り返し用いてはならない。解答番号は、Aは **1**、Bは **2**、Cは **3**、Dは **4**。

- ① しかし      ② むしろ      ③ なぜなら      ④ つまり      ⑤ たしかに      ⑥ かえって

問三 傍線部①「この問い」とあるが、ホガートは「この問い」をめぐってどのような見解を示しているか。その説明として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は **5**。

- ① 労働者に共有されていた文化が大衆文化によって駆逐されかねないという傾向が生じた。  
② 仲間たちが皆で楽しんでいるのを見物すればそれでよいとする態度が広まった。  
③ ありきたりともいえるような既成の文化をただ受け入れる人々が増えた。  
④ 楽しみを創り出しそれを皆で分かち合うことがほとんどなくなった。  
⑤ 大衆娯楽を消費することに満足するというあり方が一般化した。

問四 傍線部②「ネガティブ・リテラシーの効用」とあるが、それはどのような「効用」か。その説明として最も適当なものを、次の

①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は **6**。

- ① メディアが提供する大衆文化を消費するだけの生活から抜け出し、高度な知識や教養を身につけることが可能になる。  
② いったんあらゆる情報から身を遠ざけることで、メディアに流通するデマや陰謀論の誘惑から逃れることが可能になる。  
③ メディアが提示する不確かな情報に振りまわされることなく、本来に必要なことを受け取ることが可能になる。  
④ メディアの情報をステレオタイプに圧縮することで、重要な情報だけを迅速に吸収することが可能になる。  
⑤ 知的な専門家によるファクト・チェックに頼ることなく、自分自身でメディアの情報の検証をすることが可能になる。

問五 傍線部③「学校秀才のパスシブ・リテラシー」とあるが、それはどのような知のあり方のことを指すのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は **7**。

- ① 曖昧なものをそのまま受けとめ、真偽を保留したままにすること。  
② 学習によって膨大な知識を吸収し、それらを積極的に活用すること。  
③ 物事を成行きにまかせ、性急に判断せずにじっくり吟味を加えること。  
④ 情報の不確実さに耐えつつ、問題をすばやく解決していくこと。  
⑤ 与えられた情報を単純なカタチで捉え、それらを次々と処理すること。

問六 傍線部④「これまで、私たちはリテラシーの向上ばかりに目を向けてきた」とあるが、日本社会においてそうした傾向が強かったのは、「リテラシー」がどのようなものと考えられてきたからか。それを比喩的に説明した十字以上十五字以内(句読点なども字数に含める)の語句を本文から抜き出し、**解答用紙B**に答えよ。

問七 本文の内容に合致するものとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は **8**。

- ① ホガードは、教育により読む力を得た労働者は、いずれは週刊紙や大衆小説では満足できなくなり、専門的な書物を手にするようになるだろうと考えていた。
- ② 真偽の不明確な情報が氾濫する現代において、メディアの受け手に最も求められるのは、批判的なコードを身につけ、それによつて情報を能動的に解釈する態度である。
- ③ 古典の読書はゆとりのある有閑階級のみ許された行為である以上、そうした伝統の中から育まれた思考のあり方は、労働者階級の文化とは根本的に相容れない。
- ④ 今日のように情報が爆発的に増加する状況においては、情報を得ようと躍起になるのではなく、あえて情報を見逃すという姿勢をとることが、むしろ重要になってくる。
- ⑤ リップマンは、熟議による合意形成を促す大衆民主主義に対抗するために、情報を批判的に吟味することを可能にするメディア「アリテラシー」教育のシステムを提案した。

[二] 次の文章を読んで、後の問い(問一～五)に答えよ。ただし、解答は指定された解答用紙に記入すること。

省略(注)

省略(注)

省略(注)

(注) 捨象……不要なものを捨てること。

問一 傍線部(ア・イ)の漢字の読みをひらがなで、**解答用紙B**に答えよ。

問二 空欄 **A** **く** **D** に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑥の中からそれぞれ一つずつ選び、**解答用紙A**に答えよ。ただし、同じ言葉を繰り返し用いてはならない。解答番号は、Aは **9**、Bは **10**、Cは **11**、Dは **12**。

- ① 齟齬そご
- ② 倒錯
- ③ 源流
- ④ 欺瞞ぎまん
- ⑤ 温床
- ⑥ 構造

問三 空欄

X

に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、

解答用紙A

に答えよ。解答番号は

13

- ① 誰もが同じような暮らしに甘んじるようになる
- ② すべての人にいつも同じ形式の手続きを要求する
- ③ 人間がかかわることがらについて普遍的な法則を見い出せる
- ④ いつでも、どこでも、誰にでも平等に同一の結果が訪れる
- ⑤ 誰にとっても現実の意味が一つに限定される

問四 傍線部「精神科学とは、ごく簡単に定義するなら、自然科学に対置される学問領域をさす言葉であり」とあるが、「自然科学に対置される学問領域」である「精神科学」が注目する人間の生の経験とは、どのようなものか。本文に即して六十字以内（句読点や記号なども字数に含める）で、**解答用紙B** に答えよ。

問五

本文の内容に合致しないものを、次の①～⑤の中から一つ選び、

解答用紙A

に答えよ。解答番号は

14

- ① 日常生活を円滑に営むうえでは、言葉の意味内容を一義的に確定せず、むしろあえて曖昧なままにしておくことが必要となる場合がある。
- ② 近代以降の政治・経済システムにおいては、さまざまな弊害が生じようとも、快適さや利便性を追求することが優先されがちである。
- ③ 近代社会では物事を効率化する合理的なシステムが多様に開発されてきたが、その基盤となったのは人間科学の豊かな研究成果である。
- ④ 誤解の余地がないものと見なされがちな数字や数値も、日常生活のなかでは必ずしも一義的に用いられているわけではない。
- ⑤ 品物の値段は数値で表されるが、それが安いか高いかの判断は、多様な関係性のなかで相対的に下されるものである。

〔三〕 次の文章は、二〇二五年六月に新聞紙上で発表されたものである。これを読んで、後の問い（問一～六）に答えよ。ただし、解答は指定された解答用紙に記入すること。

省略(注)

省略(注)

ずつ距離を取り、現在はほとんど使っていない。災害後に必要となる、自分が何者であるのかを定義し直すこと、そのために、被災者が自分の言葉で経験を語れるようになること、そのいずれからも、あの世界はあまりに遠い、と今は感じている。

(安東量子『朝日新聞』「福島季報」による)

(注) T w i t t e r ……現在のX (エックス)。

問一 傍線部(ア)のカタカナを漢字に改め、**解答用紙B**に答えよ(楷書で正確に書くこと)。

問二 二重傍線部 a・b の意味として最も適当なものを、次の各群の ①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は **15**・**16**。



問三 空欄 **A**・**B** に入れるのに最も適当な漢字一字を、**解答用紙B**に答えよ(楷書で正確に書くこと)。

問四 次の文は、もともと本文中のいずれかの段落の冒頭にあったものである。元に戻すとしたら、どの段落の冒頭に入れるのが最も適当か。その段落番号を後の ①～⑨の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は **17**。

従来は幸いなことに、こうした混乱を経験するのは、被災地と外の社会との接触が生じる場面だけだった。

- ① **1**    ② **2**    ③ **3**    ④ **4**    ⑤ **5**    ⑥ **6**    ⑦ **7**    ⑧ **8**    ⑨ **9**

問五 傍線部『被災者』像が均一化・平板化された」とあるが、こうしたこと背景にあったことについての説明として誤っているものを、次の ①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は **18**。

- ① それまでの日常が奪われてしまうといった状況下で、アイデンティティまでもが揺らぐなか、外部からあてがわれた役割を演じるように強いられることになった。
- ② 被災者が発信する情報のなかでも、より多くの人たちが求める被災者像に適ったものが多く拡散されているという事実を発信者自身が学んでしまった。
- ③ ソーシャルメディアの普及によって、被災地とその外の社会という質的に異なるふたつの社会の地理的な距離が消失し、両者が直接結びつくようになった。
- ④ ソーシャルメディアの有用性が無邪気に信じられているなかで、誤情報の拡散だけでなく、卑劣なデマが広がっていくことに対してですら無防備であった。
- ⑤ ソーシャルメディアの情報に対して警戒心なく受け止められていたなかで、既存のメディアにも、そうした情報を鵜呑みにするような傾向があった。

問六 筆者の考えに合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選び、**解答用紙A**に答えよ。解答番号は**19**。

- ① ソーシャルメディアを起点とする被災地と外の社会との相互作用は、現実感の欠如した社会を出現させたが、そうした社会のあり方も災害から立ち直った姿の一つとみなすべきである。
- ② 外の社会は、被災した人たちを「被災者」という形で一方的に分類してしまうが、一度分類されてしまった人たちは、いつまでも「被災者」としての役割を演じることが要求され続ける。
- ③ 被災した人たちが立ち直るためには、他者の支えが必要であるが、被災した人たちを疎外する社会のあり方は、被災した人たちを支えようとする人たちをも傷つけてしまう。
- ④ ソーシャルメディアは、既存のメディアがそうであるように、恩恵をもたらすと同時に損失を与えるという性質があるが、だからこそ我々は恩恵を引き出す努力を怠ってはならない。
- ⑤ 被災した人たちが立ち直るためには、自らを省み、体験したことを自らの言葉で語れるようになることが望ましいが、ソーシャルメディアがそうしたことに寄与するとみなすことには無理がある。